

No.145
2011.5



ねば

村の木 すぎ

村の花 岩つづじ

私たちの村	
人口と世帯 23年4月30日現在	
総人口	1,133人
男	565人
女	568人
世帯数	437世帯

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



5月2日(月)に、大久保憲一
新村長が初登庁しました。

5月号の主な内容

新村長就任あいさつ	2 ページ
議員紹介	3 ~ 6 ページ
統一地方選挙の結果	7 ページ
議会だより	7 ページ
フォトコンテスト	8 ページ
戸籍だより	8 ページ



根羽村長

新村長就任あいさつ

この地域を次の世代へと引き継いでいかなければなりません。こうした中で、「若さと行動力で、根羽村をもつと、もつと変えてまいりたい」と思つております。自然豊かで、人情あふれるこの根羽村で「村民の皆さん」が、住んで良かった、これからも住み続けたいと思える根羽村」となるよう、村民の皆さん、議会の皆さん、そして職員の皆さん一丸となつて村づくりに挑戦してまいる覚悟であります。皆様のご指導、ご協力を心からお願い申し上げる次第であります。

な中で、下水道整備を中心とした生活環境施設整備や、福祉事業の拠点である「しゃくなげ」の設立、地域資源の利活用や交流の拠点である「ネバーランド」の設立、先人の皆さんから當々と受け継がれてきた林業を、再度「業」として復活させ、全国に先駆けた「トータル林業の構築」、そして根羽村の進むべき方向を示した「ネバーギブアップ宣言」による村づくりなど常に村づくりの先頭に立つて進めてこられました。この二十年間があつたからこそ、今の根羽村があると思います。私たちは、こうして

容赦なく押し寄せる中、雇用の場の確保は重要な課題であります。村の重要な資源である森林・林業での取り組みの拡充に併せて、村内にある様々な資源を利活用した「新たなビジネス開拓」が必要とされており、この取り組みも早急に進めてまいりたいと思います。また、村内の商工業が発展することが、村が活性化する基盤であります。このためには、村内での消費拡大を図ることが大切であります。矢作川を通じた自治体や企業、学校、団体、一般市民の皆さんを巻き込む中で交流人口の拡大

「新たなビジネス開拓」に併せて、積極的にかかわって頂き、収入と生きがいのある生活に結び付けて頂ければと考えています。四つ目は「教育、文化化、子育て支援等の充実した村づくり」であります。教育については少人数だからこそできる教育の実践と、地域と積極的にかかわることによって、子供たちが心の豊かさを持てるよう、地域ぐるみで取り組んで参りたいと思います。また、それぞれの年代の皆さん方が、悩みや不安を抱え込んで参りたいと思います。また、何でも相談でき、解決でき、明るく住み続けられる環

皆さんと一緒にになって、安全な村づくりを進めて参りたいと考えています。
これから私たちを取り巻く環境は、リーマンショック以来続く景気低迷の中で、様々な要因から自主財源の少ない当村においては厳しい財政状況が見込まれるわけであります。が、村民の皆さん議会の皆さん、職員の皆さん一丸となつて、新たな村づくりに取り組んで参る覚悟であります。皆様のより一層のご支援、ご協力をお願ひ申し上げ、就任にあたつての挨拶とさせて頂きります。

この度の統一地方選挙により、村民の皆様の温かいご支援、ご支持を頂き、根羽村長としての重責を担わせて頂くこととなりました。改めて、その職責の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いであります。この根羽村に人が住み続けられることが大切であり、

退任されました小木曾前村長さんにおかれましては、五期二十年にわたり根羽村を牽引して頂き本当にありがとうございました。この二十年間は、地方自治体そのものの存在価値が問われ、平成の市町村合併により、全国の自治体は大きくなり、その姿を変えました。そん

皆さんと一緒にになって考え
運営する村づくり」でありま
す。できるだけ早い時期に、村
内各地区へ出向いて、村民の皆
さんのご意見を伺いたいと考
えています。二つ目は「地域に
ある資源を利活用した産業の
創出と、雇用のある村づくり」
であります。少子高齢化の波が

という熱い思いをお聞きします。従来の福祉施策の拡充とともに、村民の皆さんへの要望をしっかりとお聞きし、根羽村だからこそできるきめ細かな対応を考えて行きたいと思います。また、高齢者の皆さんには、今まで培つてこられた豊富な経験や技術があります。これらを

た取り組みを継続しつつ、さらに新たな取り組みに挑戦し続けながら、村民の皆さんが安心して住み続けられる村づくりを、より積極的に進めてまいる覚悟であります。

を図りながら、村内での消費拡大に結び付けて行きたいと思います。三つ目は「若者、高齢者等住民の皆さんの健康増進や福祉対策、そして生きがいのある村づくり」であります。

境づくりの取り組みを進めて参りたいと思います。五つ目は「生活環境施設整備と、村民の安全を確保する、地域防災対策の充実した村づくり」であります。村内の上下水道はじめ

東海・南海地震がここ三十年以内に八十七パーセントの確立で起きると予測されています。東海・南海地震がここ三十年以内に八十七パーセントの確立で起きると予測されています。地域防災対策の再確認、危険箇所、物資の備蓄量、避難所

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。



議長
坂巻博文

議

員

紹

介

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。



副議長
石原明子

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。



この度の統一地方選挙においては、議員候補者として、坂巻博文議員が立候補されました。坂巻博文議員は、地域の防災対策や、高齢者支援、子育て支援など、地域社会の課題に対する強い意思を持っています。また、地域の活性化や、地域産業の発展にも力を入れています。

石原賢藏



この度の統一地方選挙において、議会活動に取り組んでまいりました。そして、この三月に起きた関東・東北地方での大震災であります。大変な災害が起きて、多くの方々の命が奪われてしましました。そして、福島の第一原発での放射能による被害は、大きな社会問題になってしまい多くの方々が避難生活を余儀なくされています。又、これからの電力不足が大変心配されています。この夏の節電計画も予定されており、日本の大企業では就労計画の変更も聞かれております。これから電力のあり方も考えなくてはならないのかもしれません。太陽光発電や風力発電など、環境にやさしい計画

皆様方のご意見をお聞きして、議会活動に取り組んでまいりたいと思っております。さて、この三月に起きた関東・東北地方での大震災であります。大変な災害が起きて、多くの方々の命が奪われてしましました。そして、福島の第一原発での放射能による被害は、大きな社会問題になってしまい多くの方々が避難生活を余儀なくされています。又、これからの電力不足が大変心配されています。この夏の節電計画も予定されており、日本の大企業では就労計画の変更も聞かれております。これから電力のあり方も考えなくてはならないのかもしれません。太陽光発電や風力発電など、環境にやさしい計画

を進めていかなくてはならない時期に来たと思います。国では、この災害復興の財源をどのようにするのか、今国会で議論中であります。財源の大きさは目を見張るばかりであります。今後の経済成長が心配になる所であります。

しかし心配ばかりしていても何もできません。少ない財源の中で経費の節減を図つて最大の効果を生み出す事を考えなくてはなりません。村にある資源を活用して新しい事を考え、又、有効に使える農地を利用して新しい事業を起こして行かなくてはならないとも思つております。

様々な取り組みがありますが、そうした取り組みを一生懸命私たちが応援していきたいと思つております。皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

又、根羽村には大久保新村長が選出され、これからも「流れる水は腐らない」新たな期待へと動き始めました。国への指針による根羽村の実質公債費比率はイエローゾーンから健全化圏内に踏み入れたばかりでしたが、三月の大災害のために村の運営が影響を受けることのないよう

に、根羽村を後世にまで健全に継続する為に更なる改善の努力が必要となりましょう。これからも皆様と話し合いまして、住める心豊かな村、そして持ち寄る情報を共有する中で糸口を見つけて、皆が安心して住める心豊かな村、そして自然景観「留まらない水」の誇れる村をつくり、明るい方へ皆で力を合わせて前進しよう。

どうか今後ともご支援ご協

商工会を始めとして村の商業に携わる皆さん方が活躍して根羽村を盛り立ててくれます。

こうした人たちの頑張りが、そんな中で、根羽村にも独身者が多く住んでおります。そこで、結婚相談員が色々な取り組みを考えているところです。皆さんの参加をお願いしたいと思います。

根羽村を元気にして行くのだと思つてあります。根羽村にも独身者が多く住んでおります。そこで、結婚相談員が色々な取り組みを考えているところです。皆さんの参加をお願いしたいと思います。

又、根羽村には大久保新村長が選出され、これからも「流れる水は腐らない」新たな期待へと動き始めました。国への指針による根羽村の実質公債費比率はイエロー

ゾーンから健全化圏内に踏み入れたばかりでしたが、三月の大災害のために村の運営が影響を受けることのないよう

に、根羽村を後世にまで健全

に継続する為に更なる改善の努力が必要となりましょう。

これからも皆様と話し合いまして、住める心豊かな村、そして持ち寄る情報を共有する中で糸口を見つけて、皆が安心して住める心豊かな村、そして自然景観「留まらない水」の誇れる村をつくり、明るい方へ皆で力を合わせて前進しよう。

どうか今後ともご支援ご協

力くださいますようお願いします。

私は、この度、根羽村議会議員一般選挙におきまして、村民の皆様からの厳肅なるご信託をいただき、栄えある村議員としての重責を担い、身の引き締まる思いを致しております。

当村は、先祖代々から引き継がれた森林育成、林業を中心として生活基盤を創り、経済、文化が発展し、現在に来ております。過疎化も緩やかながらも進みつつの今日この頃であります。この過疎化現象も少子高齢化に伴う全国的現象であります。しかししながら、先の村民に於けるアンケートの結果によりますと、住みたいたい村、住み続けたい村と回答

去る三月十一日に発生した東日本大震災の地震と津波の被害の上に追いつを掛けるように原発の人災に遭われた東北地方の方々と、更に翌日三月十二日発生の長野県境直

又、社会福祉協議会「じやくなげ」では多くの高齢者の方々がそれぞれの立場で色々取り組みをし、また、お世話になつております。

今、根羽村の特産品を造つて多方面へ出向く根羽村の発信者であるネバーランド、根羽村の観光地であります。

又、社会福祉協議会「じやくなげ」では多くの高齢者の方々がそれぞれの立場で色々取り組みをし、また、お世話になつております。

片桐俊夫



西尾宣三



された方は、約半数以上であります。素朴ながらも自然豊で人情深い、この根羽の郷を愛されていることが良くわかります。

さて、今こそ当村は村民一
体となり、地域の特性や実状
を踏まえた主体的な村民施策
を行い、一層の拡充を目指し
つつ、独自性を發揮し、村民
の生活向上を図つていかなければ
なりません。

私が一期目より基本理念としております、森林整備事業も最近は皆様の努力にもより、年間五〇〇ヘクタールの整備事業（産業）を出来る現在となりました。地道な事業かもしれませんが、雇用創出、その他多面では、大きな力となつてきております。そして、まだ林道、作業道等の路網拡充を図れば、村民の皆様への還元も生まれ、生活向上へと繋がることでしよう。

又 新施策として、自然資源の利活用が必要と思われます。信州大学との連携協定を期に、当村資源の宝となる物を見出し、信州大学シンクタンクとの連携により、村の産業に結びつければ、遊休農地再利用にも繋がり、雇用創出も生まれ、まさに時宜、喫緊な施策の一つと考えます。

石原明治



原光史



この度の村議会議員選挙にあたり、地元を始め多くの村民の皆様方から温かいご声援と、今まで以上のご理解と、

議員の改選と共に、五期二十
年間に亘り村政を担い、根羽
村をここまで導いてくれた小
木曾前村長に代わり、五十三
歳の若く行政経験も豊富な大
久保新村長が誕生してその手
腕が期待されているのですが、
掲げている五つの公約を実現
できるように、議会と行政が
協力し合っていかなくてはな
りません。そして、新村長の
冒頭の挨拶にあつた『自然環
境に恵まれ、人情豊かな根羽
村で、生き生きと元気に暮ら
せ、住んでよかつた、住み続

は、輝かしい二十一世紀が村民の皆様方にとって、より良い世紀となるよう、この根羽村から元気活力が沸き上がり、変革と創造が生まれるよう、根羽村らしい風を起こし、魅力ある根羽村を目指し、頑張る所存でございます。今後とも、叱咤激励、ご指導宜しくお願い申し上げます。

村の力がそれだけ弱くなると言ふことで、地方交付税も二割、三割と減つてくることが予測されます。

その様な状況の中、目指す方向としては、身の丈にあつた村づくり、心豊かな地域づくり、そして正直者が馬鹿をみない村づくりを目指したいと思います。

(一) 将来負担比率を今以上に上げるには、

(二) 増えてくる老人問題では、
けないこと

要介護者のショートステイ（一週間から二週間）を充当できる施設の導入への調

研究と査定

(三) 丑末川井川問題を考え直す

と「山」が見えてくること

から、林業再生にバイオマ

スエネルギーの導入を検討

四 現在第四次根羽村総合計画

これから押し寄せる、高齢化社会に於いて、福祉サービスを念頭に置き、生涯学習の

より微力ではありますが、四年間の経験を踏まえて精一杯行動する覚悟です。

充実を兼ねた福祉事業の向上も必要となります。先の事も踏まえ、多方面に渡った福祉

私たちの村は自立でやつて
いく訳ですが、平成四十二年
には人口が七百二十人になる

十六年）の計画の折には、
村民自らがあぶり出した計
画書を作ること

[五]村の宝とも言える根羽川の水質がかなり悪化している様子があるので、森を含めた健康診断を提言していくこと

村』、『安心の出来る根羽村』への村づくりを目指して精一杯頑張る所存ですので、ご支援・ご協力の程を宜しくお願ひ申し上げます。

以上の五点を中心課題として、二期目に臨みたいと考えます。前期において優れた取り組みをしている自治体での字びもあり、熱意と工夫のないところに改革の芽はないと思つております。精一杯頑張つていきたいと思いますので、よろしくご指導の程お願ひ申しあげます。

原光史

この度の村議会議員選挙にあたり、地元を始め多くの村民の皆様方から温かいご声援を、今まで以上のご理解と、

今、根羽村が抱える数多くの問題を解決していくのは決して安易な道ではありません。地方交付税の減少、自主財源の伸び悩み、又、少子高齢化、後継者問題、遊休農地対策、教育問題など、多々蓄積しております。

しかしながら、今回村議会議員の改選と共に、五期二十一年間に亘り村政を担い、根羽村をここまで導いてくれた小木曾前村長に代わり、五十三歳の若く行政経験も豊富な大久保新村長が誕生してその手腕が期待されているのですが、掲げている五つの公約を実現できるように、議会と行政が協力し合つていかなくてはなりません。そして、新村長の冒頭の挨拶にあつた『自然環境に恵まれ、人情豊かな根羽村で、生き生きと元気に暮らせ、住んでよかつた、住み続

けたいと思える村』を実現しようとします。

そこには、特に後継者のU

ターの促進を図る施策には力を入れ、根羽で働く事を考

えている人、根羽から働きに

行く事が出来る様にしたいと

考えている人の力になる事と、

基幹産業である林業振興を始め、農商工業者への支援の充

実と、産業創始者への援助を

考え、山や川の自然に恵まれ

ている根羽村を目的として来

る人達の受け皿事業を充実し、

少しでも自主財源の増加を見

込められる様に取り組んでい

きたいと思います。

先人が築き上げてくれた緑の山林、味わい深い渓谷、矢作川源流の透き通った清らかな清流を今以上に良くしていけば、根羽に住みたい、根羽で育ちたい、又根羽を愛したい、と思う人が数多く出てくると確信しています。

そのためには何をしたら良いのか、何をやらなければならぬのかを、在任中、多くの村民の皆様を始め色々な分野の人と親交を深め模索研究し実現していきたいと思います。数年先、数十年先又は数百

年先に、あの時根羽村が決心・決断した事で今があるんだよ、と代々に語られる仕事

が出来れば幸いかと思います。

はならない。

片桐龍男



この度の村議会議員一般選挙において多くの皆様方の支援を頂き当選させて頂き、引き続き村政の場で働く事が出来ることに、心から感謝申し上げます。

去る三月十一日におきた東日本大震災で被災され、亡くなられた方に、お見舞い申し上げると共に、原発の事故で余儀なく避難せざるを得ない方々の、一日も早い復興を心から応援するものです。

根羽村も、ネバーギブアップを宣言し自立の道を邁進していますが、根羽村の依存財源八十六・五%、自主財源十三・五%、地方交付税も毎年削減されて来ましたが、日本

がうしての震災復興もあり、更なる削減が予想されます。こうした厳しい中につつても、根羽村に住み続ける以上、やる事は、しつかりやらなくて

AED設置のお知らせ

保育所にAEDが設置されました。

平成二十二年度に安心こども基金（地域子育て創生事業）により保育所にAED（自動体外式除細動器）を設置しました。事故等が発生した際、子どもの安全を確保します。



根羽村消防団が日本消防協会竿頭綬授与される



この度、根羽村消防団の功績が認められ、消防幹部基礎強化訓練において日本消防協会より竿頭綬が授与されました。心から御祝い申し上げ、消防団の益々のご活躍を期待しています。

村民の皆様が誇りと愛着をもつて生活できる根羽村を、新村長と共に目指してまいります。村民の皆様の今まで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

後半戦の村長選挙 村議会議員一般選挙は四月十八日に告示され、村長選挙については、二十年ぶりに選挙になりました。

●県議会議員一般選挙の結果

候補者名	得票数
高橋たかとし	374
吉川しょういち	135
熊谷ひでお	271
無効	6
計	786

	当日の有権者	期日前投票者	不在者投票者	投票所投票者
男	487	120	2	264
女	498	157	1	242
計	985	277	3	506

	投票者計	棄権者	投票率
男	386	101	79.26
女	400	98	80.32
計	786	199	79.80

統一地方選挙の前半戦の長野県議会議員一般選挙は三人が立候補し、四月十日に投開票が行われ投票率は七十九・八〇%でした。

根羽村の結果は別表のとおりでした。

統一地方選挙の結果

定数八名に対し九名が立候補し、投票となりました。

二十四日の投票日には村内八力所の投票所で投票が行われ、投票率は九十二・二八%となりました。

開票の結果は次のとおりで

した。

条例

◆北設広域事務組合議会議員選挙
大久保村長、坂巻議長が指名され、北設広域事務組合議会議員に当選しました。

根羽村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

表のとおり決定しました。

- ◆ 消防委員会委員の推薦
議長より片桐龍男議員・原光史議員・片桐俊夫議員の二名が推薦され承認されました
- ◆ 議席の指定
- ◆ 常任委員会及び議会運営委員会の議長の指

◆南信州広域連合議会選挙
副議長に当選しました。
坂巻議長が指名され、南信
州広域連合議員に当選しまし

◆議長選挙

投票により坂巻博文議員が

選挙

統一地方選挙後の初議会となる第三回臨時議会が五月六日に開催されました。内容は、次のとおりです。

国民健康保険税の基本課税額の限度額の引き上げが行われました。

選挙長選舉に当選しました。投票により坂巻博文議員が

第二回臨時議会

●候補者の得票数	
	候補者名
当	大久保憲一
	松下 忠司
無効	
計	

●候補者の得票数		
	候補者氏名	
当	石原	明治
〃	片桐	龍男
〃	石原	賢藏
〃	坂巻	博文
〃	原	光史
〃	石原	明子
〃	片桐	俊夫
〃	西尾	宣三
	藤城	秀利
無効		
計		

成構會議

議長	坂巻博文	副議長	石原明子
総務委員会	◎片桐龍男 5番	○原光史 2番	西尾宣三 7番 坂巻博文 1番
経済委員会	◎石原明治 4番	○片桐俊夫 3番	石原賢藏 6番 石原明子 8番
議会運営委員会	◎石原明子	○片桐龍男	石原明治 坂巻博文

◎ 委員長 ○ 副委員長 数字は議席番号



中日新聞社賞

氷の劇場

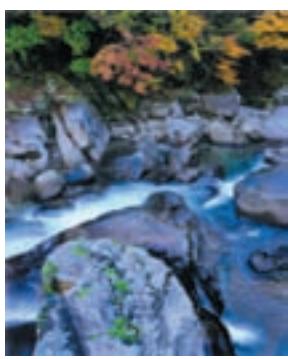
小嶋秀明(愛知県幸田町)



村長賞

根羽恋ソーラン

小原多津子(飯田市)



中日写真協会賞

小戸名渓谷の清流

別府英子(豊田市)



審査員特別賞



観光協会長賞



南信州新聞社賞

運動会も終わって

小原英喜(飯田市)

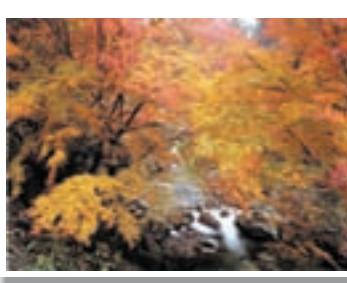


信濃毎日新聞社賞

穏やかな一日

熊崎元子(飯田市)

信州日報賞

彩り深く
加藤優治(飯田市)

優秀賞

廃屋

内山忠久(名古屋市)



優秀賞

根羽川雪景

鳴海寿勇(飯田市)

第27回
ふるさと根羽村フォトコンテスト
「秋・冬の部」審査結果

今年度実施しました、第二十七回ふるさと根羽村フォトコンテスト「秋・冬の部」において次の方々が入賞されました。
当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランド杉ホールに展示してありますので、ご覧下さい。
なお、今年度第二十八回春・夏の部を計画してありますので、是非多くの方々のご応募をお待ちしています。